

おでかけむーま号の **実証運行結果** をお知らせします

国際興業バス間野黒指線の見直しにより、昨年9月1日から飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」の実証運行がはじまり、今年8月をもって実証運行を終えました。地域の皆さんには日頃からご利用いただき、ありがとうございます。今回は、1年間の実証運行の結果と今年10月下旬～11月上旬に実施した乗込調査の結果をお知らせします。この先もおでかけむーま号が地域の安心、安全な移動手段として運行が続けられるよう、みんなで乗って、育てていきましょう。

運行概要

小学校便

- 間野黒指～東飯能駅
(南高麗小学校経由)
- 週5日(月～金)
- 3.5便運行

南高麗地区 行政センター便

- 間野黒指～東飯能駅
(南高麗地区行政センター経由)
- 週3日(月・水・金)
- 2便運行

苅生便

- 苅生自治会館～東飯能駅
(南高麗小、行政センター経由)
- 週3日(月・水・金)
- 2便運行



項目	実績
(1) 運行期間	令和4年9月1日～令和5年8月31日(1年間)
(2) 運行便数	2,714便(3系統の合計)
(3) 利用者数	7,454人(3系統の合計)
(4) 事故件数	0件

安全に運行されました!

大事な指標! 「便あたり利用者数」

どのくらいの人に使われているかをあらわす数字の「便あたり利用者数」を確認しましょう。「1便(片道)運行したときに平均して何人使うか」をあらわす数字です。各系統の合計は、下の表のとおり2.75人で、当初目標として設定した1.50人(往復3人)を上回っています。

系統	便あたり利用者数(人/便)	
小学校便	上り	3.77
	下り	2.96
南高麗地区行政センター便	上り	2.05
	下り	1.60
苅生便	上り	1.71
	下り	1.69
合計	上り	3.06
	下り	2.37

目標値(1.50人)クリア!

2.75



課題や問題点の整理

実証運行の利用実績や、いつもご利用いただいている方、地域の方からの声などから、おでかけむ一ま号の運行についての課題や問題点を以下のとおりまとめました。

① 利用者が少ない区間がある

時計台のある「南高麗」バス停から上の区間（弁天前～間野黒指）の便あたり利用者数が約0.2人、おでかけむ一ま号の運行開始にあたり新設した苅生方面の便あたり利用者数が約0.3人であり、比較的少ない傾向にあります。

② 運行便・運行日が限られている

実際にご利用いただいている方からは「土日にも運行してほしい」、「運行便の少ない火・木曜日にも運行便を充実させてほしい」という声をいただきました。現在、飯能リハビリ館さんに火曜日に運行していただいている移送サービスなど地域資源の活用を含めて、おでかけの足の確保を考えていくことが必要です。

③ 運行経路や時刻表がわかりづらい（検索できない）

系統ごとに行先、運行日などが違っていて、特に高齢の方々が運行内容を理解するのが難しいという声が寄せられています。また、運行経路や時刻表が経路検索アプリなどで検索できない状態のため、今後、運行情報のオープンデータ化を進める必要があります。

④ 運行を続けていくための収入源の確保

運行経費に対する運行収入の割合をあらわす「収支率」は南高麗系統全体で8.7%（令和4年度実績）です。引き続き地域の皆さんに積極的にご利用いただくとともに、皆さんに使ってもらえるよう利用促進策を実施する必要があります。また、これからも地域に移動手段を残していくために、地域からの協賛制度・スポンサー制度など運行収入以外の収入源の確保策についても検討を進める必要があります。



今後の予定 …皆さんからご意見をいただきながら運行内容の変更を検討します

今年9月から本格運行がはじまりましたが、これからもご利用しやすく、かつ持続的に運行ができるよう見直しを検討していきます。今回の各調査などの結果や皆さんからのご意見を踏まえながら、以下のスケジュールで運行内容の見直しを進めていきます。ぜひご意見をお寄せください。

時期（予定）	内容（変更になる可能性があります）
令和5年12月	みんなで考えようおでかけの足通信 発行 ▶意見募集
～12月	地区のまちづくり団体などとの意見交換会 ▶意見交換
～令和6年1月	運行内容検討、運行案決定
2月	地区のまちづくり団体などとの意見交換会 ▶運行案報告
3月	みんなで考えようおでかけの足通信 発行 ▶運行案周知
3月	飯能市地域公共交通対策協議会（※）開催 ▶運行内容決定
9月	みんなで考えようおでかけの足通信 発行 ▶運行内容の変更周知
令和6年10月1日～	運行内容変更

今ここ

※飯能市地域公共交通対策協議会 … 飯能市の公共交通に関する重要な事項を審議する会議です。市内交通事業者のほか国、県、警察等の関係する行政機関、自治会連合会、商工会議所、観光協会などで構成されます。



便別の便あたり利用者数

運行便ごとに「便あたり利用者数」を以下のとおりまとめました。

●上り（南高麗地区発 → 飯能駅・東飯能駅方面行）

便目	系統	発時刻	便あたり利用者数
1	小学校便	7:45	① 4.65
2	小学校便	8:59	4.13
3	南高麗地区行政センター便	10:03	3.14
4	苅生便	11:25	2.21
5	南高麗地区行政センター便	12:26	0.96
6	苅生便	13:27	1.20
7	小学校便	15:09	2.15
8	小学校便	16:13	② 4.14

ポイント！

- ① 1便目の小学校便は、南高麗小学校の児童の登校のため、安定的に利用されています。
- ② 8便目の小学校便は、南高麗地区内のハートフル農園の従業員の方に利用されています。

●下り（東飯能駅発 → 南高麗地区方面行）

便目	系統	発時刻	便あたり利用者数
1	小学校便	8:31	① 4.30
2	南高麗地区行政センター便	9:35	0.59
3	苅生便	11:00	1.39
4	南高麗地区行政センター便	11:58	2.60
5	苅生便	13:02	1.99
6	小学校便	14:41	② 3.23
7	小学校便	15:45	1.34

ポイント！

- ① 1便目の小学校便は、ハートフル農園の従業員の方により利用されています。
- ② 6～7便目の小学校便は、南高麗小学校の児童の下校のため、安定的に利用されています。



乗込調査を実施しました

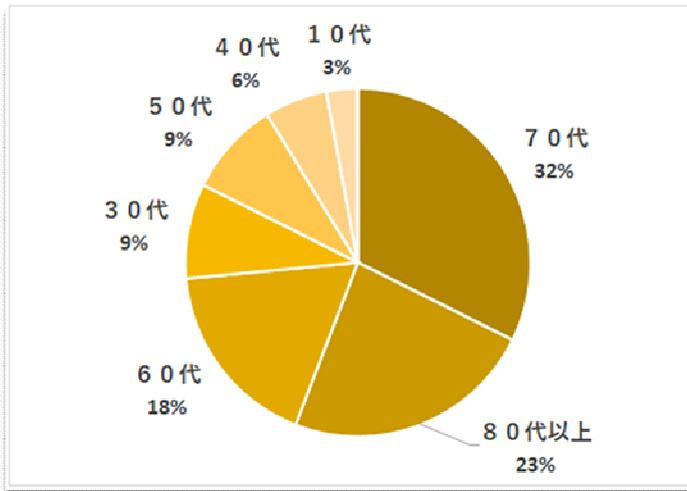
おでかけむーま号の利用状況をより細かく把握するため、以下のとおり乗込調査を実施しました。アンケートのご回答、ありがとうございました！

●調査概要

調査日	10/30(月)、11/1(水) 2日間
対象便	小学校便、南高麗地区行政センター便、 苺生便
実施方法	・調査員が車内で利用者※に調査票配付 ・受付期間中、車内に調査票吊り下げ配布 ※小学生以下の利用者を除く
調査票 受付期間	10/23(月)～11/8(水)
回答方法	①WEB 回答(電子申請) ②調査員への手渡し ③その他(郵送、FAX、メール)

▶調査票回収数 **34** (うちWEB 回答：3件)

●回答者 年代



▶回答者は70代が最も多く、60代以上で見ると全体の73%でした。

▶高齢者だけでなく、10代、30代、40代の方にも回答いただきました。(全体の18%)

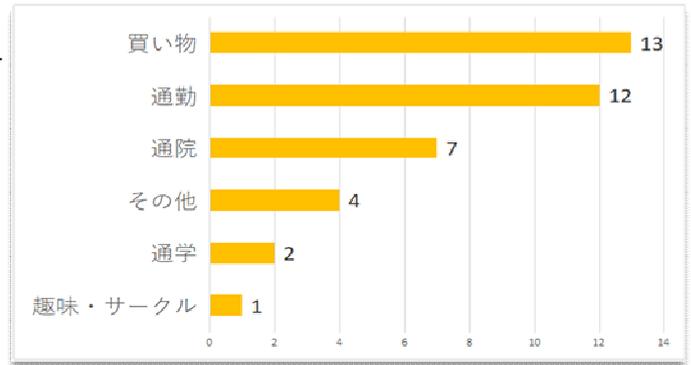


アンケートでいただいたご意見(要約・抜粋)

運行便の設定について

- 土日も運行便があるといい。
- 火・木も運行便を充実してほしい。
- 夕方～夜にも運行便を設定してほしい。
- 東飯能駅で電車との接続が悪いときがある。

●利用目的(複数回答可)



▶主に日常の「買い物」、「通院」のための利用を想定していますが、「通勤」が2番目に多く、さまざまな目的に利用されています。

●利用区間(乗降数調査の結果より)

利用者の乗り降りのバス停を確認し、「どこで乗ってどこで降りたか」の利用パターンを調査しました。



ポイント!

- ①【上り】時計台～リハビリ館エリアで乗車→まちなか(アルプス～東飯能駅)での降車が多いです(57%)。次いで岩淵エリアで乗車→まちなかで降車(24%)。
- ②【下り】約90%がまちなかで乗車し、時計台～リハビリ館エリアでの降車がメインでした(68%)。その他のエリアでの降車も見られました。
- ③南高麗小学校の児童の通学など、乗り降りともに南高麗地区内の利用も見られました。

その他運行について

- もう少し安ければありがたい。
- フリーで降りることができるので助かる。
- 飯能リハビリ館の前の道路がガタガタしていて乗っていると激しく揺れる。